



▲遭難防止啓発看板を設置する様子

いのちを守る判断を

山菜採りの遭難防止啓発看板の設置

4/26

4月26日、市は、上登別町や鉢山町などに山菜採りでの遭難防止啓発看板を設置しました。

遭難防止啓発看板は、過去に市内で遭難事故が発生した区域を中心に設置されており、毎年後を絶たない山菜採りでの遭難事故の防止を呼び掛けています。

遭難者の多くは初心者ではなく、山菜採りの経験者です。毎年入っている場所であっても決して油断せず、悪天候のときは日を改める、家族に行き先と帰宅時間を伝えておく、崖や急斜面など危険な場所には近づかないなど、基本的なことを守り、命を守る行動をとりましょう。



▲「チョコ・エビー」にほおずりされるポニー2世

ポニー2世誕生

神奈川県海老名市

5/6

5月6日19時30分ころ、神奈川県海老名市でポニーの「チョコ・エビー」が元気な雌の赤やんを出産しました。

「チョコ・エビー」は、平成22年に市が海老名市に寄贈したポニー2頭のうちの1頭。海老名市に旅立つまで2頭を世話していた武田周造（たけだしゅうぞう）さんは「あんなに小さかったポニーが子馬を生んだことは、とてもうれしい。元気に育ってほしい」と新しい生命の誕生を喜びました。

生まれたばかりのポニー2世は元気いっぱい。「チョコ・エビー」のほおずりに気持ちよさそうに目を細めていました。

貴重な湿原を後世に
ミズバシヨウ鑑賞会

4/25

4月25日、キウシト湿原で毎年恒例の『ミズバシヨウ鑑賞会』が午前と午後、それぞれ1回ずつ開催され、市民約20人が参加しました。

一般開放されている『公開エリア』のほか、普段は立ち入ることができない『保全エリア』も見学できるこの催し。ミズバシヨウ、エゾノリュウキンカをはじめとする湿原に生育しているたくさんの植物の生態や、湿原の保全に向けた取り組みなどについて、ガイドから解説を受けた参加者たちは、咲き誇る花々と市街地に残る登別の原風景を堪能しつつ、春の一日を過ごしていました。



▲ガイドの解説に耳を傾ける参加者たち

光るえんとつ町の世界
ペルキッズマルシェ

4/30

inらら公園

4月30日、らら公園で「ペルキッズマルシェ inらら公園」が行われました。

公園の中央に駐車された4トトラックのウイングが開くと、中には絵本『えんとつ町のペル』の全41ページがずらり。緻密に描かれた1ページ1ページが光をまとい、幻想的な雰囲気で、来場者たちの目を楽しませていました。

会場では、『えんとつ町のペル』の朗読が行われたほか、登別閻魔（えんま）やきそばの屋台や緑日コーナーなども用意され、参加者は、思い思いに楽しい時間を過ごしていました。



▲光る絵本を前に足を止める人たち